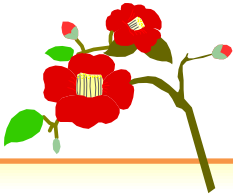


Ikuhou 通信 ~ 2月号~

令和7年 1月 10日発行



育宝進学塾ホームページ: <https://www.ikuhou.com>

飯能教室: ☎ 042(972)5543 ✉ hannou@ikuhou.com
入間教室: ☎ 04(2963)2376 ✉ iruma@ikuhou.com
小川教室: ☎ 0493(73)2221 ✉ ogawa@ikuhou.com
東松山教室: ☎ 0493(81)4970 ✉ higashimatsuyama@ikuhou.com
武蔵藤沢: ☎ 04(2902)6910 ✉ musashi-fujisawa@ikuhou.com
新所沢教室: ☎ 04(2968)6835 ✉ shintokorozawa@ikuhou.com

最新情報

埼玉県教育局から発表された、令和7年3月中学校卒業予定者のうち、高等学校進学希望者が全体の97.2%を占めました。全日制進学希望者は55,293人で、前年より185人減少しました。また、このうち県内公立希望者は74.7%、県内私立が18.2%、県外私立が18.2%などとなっており、県内私立希望者が増加し、公立希望者が減となりました。3年後の大学進学を見越して、県内私立への希望者が増加傾向であることが目につきます。

ご報告など

【冬期講習終了】

冬期講習が行われ、無事に終了しました。小学生と中1・中2は、ここまでの各学年の総復習を中心に、中3は受験前の総復習を行いました。冬休みは短いので、もちろんハードでしたが、みんな頑張って取り組んでいました。この頑張りを忘れずに、これからにつなげていきましょう!

【中学部模擬テスト最終回】

1月11日、中学部各学年最終回の模擬テストが実施されます。結果は今月末に返却予定です。中3は県立入試に向けて、中1・2は期末までにまだ時間があるので、「解き直し」を必ずしましょう。

【各種検定試験〆切日】

英検・漢検・数検の〆切があり、集計中ですが今回も多くの申し込みがあるようです。各教科への自分の意欲がまっすぐに表れる検定に、今年も前向きに取り組みましょう。

【小学部第3回統一テストについて】

今年度最後の統一テストが、1月17日(金)から各授業時間を使って行われます。範囲は2週間前に発表されますが、それぞれの学年の総復習になります。講習を含めて早めに準備を進めましょう。

2月の予定

各検定試験について

今年度最後の検定試験が下記の通り実施されます。「入試に有利」という目先の損得でなく、「**自分を高める**」一つの手段として、目標を定め、しっかりと取り組んでほしいと思います。

◇英語検定 1/18 実施 ◇漢字検定 1/25 実施 ◇数学検定 2/8 実施

※全検定で過去問を用意しております。各教室の受付までお申し付けください。

中学進学準備講座について

—現小6の皆さんへ—

2月4日から中学進学準備講座をスタートします。算数は小学算数の重要単元をまとめて、中学校の勉強の土台をつくります。英語は学習指導要領の改訂により、難化した中学英語に対応するための土台をつくります。お知り合いの方やご兄弟で、4月から中1になるお子様がいらっしゃいましたらご紹介ください。**なお、塾生は授業内で実施する講座なので、通常通り通っていただければ問題ありません。**

3月の北辰テスト申込みについて

3月16日(日)に実施される中1・2北辰テストの申込みが、2月21日(金)に締め切られます。全県レベルの成績を知ることができる機会です。ぜひ前向きに参加し、現在の学力を知ると同時に、今後の課題を見つけましょう。

お知らせ

令和7年度入試について…

令和7年

2/13(木)、14(金)、17(月)：入学願書、調査書、学習の記録等一覧等の提出期間

※2/13(木)は郵送による提出

2/18(火)、19(水)：志願先変更期間

2/26(水)：学力検査

2/27(木)：実技検査(芸術系学科等)、面接(一部の学校)

3/3(月)：追検査

3/6(木)：入学許可候補者発表



保護者様への情報コーナー

今月のテーマ：感情的な対応を手放す

「子どもが勉強をせずにテレビを見ている（ゲームをしている）」と、つい感情的になってしまう。

「子どもの部屋が汚い」と、つい感情的になってしまう。

「子どもが親に口答えする」と、つい感情的になってしまう。

という悩みをよく聞きます。親自身が感情的になってしまったことを振り返り、さらにちょっと落ち込むようなことがあるのなら、親力アップの大きなチャンスです。なぜなら、通常、人が感情的になるとき、環境や他者のせいで自分の中の感情スイッチが入ってしまったと考え、その場面では感情を抑えることなど不可能であると考えがちだからです。ちょっと落ち込むのは、その時、他の方法がなかったのかと自分自身に問うていると思われるからです。

さて、感情は、一般的に自分の意思ではどうにもならないものと考えがちですが、ある目的を達成するための手段であり、ツールであると考えれば、コントロールが可能になります。

「子どもが、勉強せずにテレビを見ている」ことに異論があっても、なぜ冷静に意見を伝えるのではなく、感情的に怒鳴ったりするのでしょうか。

「だって、大人しく言っても、いうことを聞かないから・・・」

という声が聞こえてくるようです。そうなのです。この場合、感情を使う目的は、「親の言うことを子どもにきかせる」ことにあるのです。

子どもが小さい頃であれば、効果があったかもしれない、感情を使って言うことをきかせる方法。しかし、子どもが成長すれば、だんだん効果は薄れます。効果がないのに使い続けているから、後に徒労感が残るのでしょうか。それだけではありません。子どもとの人間関係が徐々に悪化するかもしれません。ですから、感情を使う方法を手放しませんか？方法は、簡単です。

- 1：感情を使うことを手放す「決意」をする
 - 2：「Iメッセージ（私は～と思っている）」を使って気持ちや意見を伝える
 - 3：どうしても言うことをきいてもらえないのなら、「諦める」です。
- 1、2もさることながら、3の「諦める勇気」も大切です。「何がなんでも言うことをきいてもらわなければならない」という姿勢が、感情に油を注ぐことになります。

「感情的な対応を手放す」

このコーナーでは、保護者の方へ、お子様との関わり方についてお伝えしていきます。

**お近くで塾を探しているお子様や保護者様はいらっしゃいませんか？
ぜひ、育宝進学塾にご紹介ください。**

お問い合わせTEL 0493-73-2221 谷までご連絡ください。